

舞鶴市議会 産業建設委員会 活動報告

- 兵庫県高砂市における取組の調査
- 熊本県球磨川流域復興局における取組の調査
- 山口県下関市における取組の調査

産業建設委員会調査視察

実施日：令和4年5月17日～19日

視察の目的

治水対策について、台風などの豪雨災害による市街地や農地の浸水被害を軽減するための手法を学び、本市における防災・減災機能の充実、強化を図る上での参考とする。

また、農業振興に係る取組について、新規就農者を確保するための施策や集落ぐるみで鳥獣被害を防止する対策事業の事例を学び、本市の農業の課題である担い手の確保や有害鳥獣対策を進める上での参考とし、より効果的な市への政策提言につなげる。

〔産業建設委員会の令和4年の重点事項〕

- (1) 農業を支える新たな担い手の育成・有害鳥獣対策の推進に関する調査研究
- (2) 防災・減災機能の充実、強化に関する調査研究

視察先及び日程

舞鶴市議会のホームページに視察報告書を掲載していますので、ご覧ください。



日 程		視 察 先	調 査 事 項
令和4年5月17日(火)	午後1時30分～3時	兵庫県高砂市	総合治水対策について
令和4年5月18日(水)	午後1時15分～2時50分	熊本県球磨川流域復興局	流域治水対策について
令和4年5月19日(木)	午前10時～12時	山口県下関市	農業振興に係る取組について

産業建設委員会調査視察

実施日：令和4年5月17日～19日

【兵庫県高砂市】調査事項：総合治水対策について

《高砂市の取組の概要》

- ◇ 管渠等の様々な構造物を一体的に評価できる「流出解析モデルを用いたシミュレーション手法」を導入している。
- ◇ 段階的な整備目標として、床上浸水被害を解消するための「短期対策」、床下浸水被害を解消するための「中期対策」、浸水被害を軽減するための「長期対策」を策定、実施している。
- ◇ 護岸改修や設備の増設などにより、床上、床下浸水の被害が大きく軽減された。



浸水被害防止のためのポンプ場



高砂市役所での説明

《委員の所感》

- 短期、中期、長期と明確に目標を定めて段階的に治水対策に取り組んでいることが、分かりやすく効果的であると感じた。
- 「ながす」、「ためる」、「そなえる」という3つの役割を打ち出すことで、総合治水対策の全容が分かりやすくなっていると感じた。
- 事業者や市民との共同による治水対策の取組は、本市に不足している視点であると感じた。
- 河川や下水道に流れ込む量を減らすため、雨水を貯留、浸透させる対策が、本市にも必要であると感じた。

産業建設委員会調査視察

実施日：令和4年5月17日～19日

【熊本県球磨川流域復興局（人吉市）】調査事項：流域治水対策について

《球磨川流域復興局の取組の概要》

- ◇ 令和2年7月の豪雨災害を受けて「球磨川水系流域治水プロジェクト」を策定し、以下の事業を実施している。
 - ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 … 河道掘削、森林整備等
 - ・ 被害対象を減少させるための対策 … まちづくりと連携した高台への居住誘導、土地利用規制等
 - ・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 … 排水門の整備、地域と連携した訓練等
- ◇ 水田の貯留機能を高める「田んぼダム」の普及・拡大を推進している。



「田んぼダム」の現場（人吉市）



熊本県球磨川流域復興局での説明

《委員の所感》

- 「ダムによらない治水」から「流水型ダムの建設」への方針転換を表明したことは、注目すべき点だと感じた。
- 被害対象を減少させるため、まちづくりと連携した高台への居住誘導や土地利用規制等を実施していることは、効果的な取組だと感じた。
- 「田んぼダム」への協力支援や、防災意識の向上を図るソフト面での対策の強化など、自助、共助による取組は、大いに参考になった。

産業建設委員会調査視察

実施日：令和4年5月17日～19日

【山口県下関市】調査事項：農業振興に係る取組について**《下関市の取組の概要》**

- ◇ 新規就農者を確保するため、以下の事業を実施している。
 - ① 就農円滑化対策事業 … オンラインによる就農相談の体制を整備し、短期間の農業就業体験の受入れを行う。
 - ② 新規就農者確保加速化事業 … 市内での就農を希望する人を対象に、指導農家の下での農業就業体験の場を提供する。
 - ③ ポストコロナに対応した農業経営実践加速化事業
… 農業者の作業負担の軽減等のため、「スマート農機」の導入に要する経費の一部を支援する。
- ◇ 有害鳥獣被害防止対策として、サルを捕獲する大型捕獲柵の設置やモンキーダッグによる追い払いなどの事業を実施している。



有害鳥獣捕獲用の檻



下関市役所での説明

《委員の所感》

- 新規就農者に対する支援で、JAや青年部と行政との連絡がしっかりなされていると感じた。
- 新規就農へのハードルが高い要因の一つに、機械の購入費が高いことが挙げられるが、下関市では営農規模に応じて補助率を加減している点が、参考になった。
- 有害鳥獣捕獲班員の人数に制限を設けず、希望者は全て加入登録できる点で、本市と異なっていた。